



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 18 No. 2408

2012-2013年度国際ロータリーのテーマ



例会場／士別グランドホテル
 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
 会長／尾崎 学 副会長／千葉繁夫
 幹事／泉谷 勇
 URL <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>



士別市立「あいの実保育園」と士別RCが創立50周年記念事業に寄贈した遊具

2012-2013年度士別ロータリーのテーマ
奉仕の心を大切に 平和の絆を広げよう

第2490回例会 2012年11月26日(月)

今日のプログラム

・夜間例会

前回(11月19日)の記録

・普通例会 ・会員卓話

司会	坂口芳一 会場監督
斉唱	奉仕の理想
本日の出席	出席率 会員52人 出席42人 出席率 80.7%
本日の欠席	阿達 勇、今井 裕、加藤 博、黒田康敬、近藤峯世、坂野虎溪、野 英俊、深尾幸夫、片庭孝暁、千葉道夫

メーカーアップ

ビジター・ゲスト 小柳義照 (旭川ロータリークラブ)

ニコニコBOX 小柳義照氏 (旭川ロータリークラブ、ビジターフィーとして)

累計174,000円

例会予定

■11月例会日 【ロータリー財団月間】

- 11日 5日 (月) 例会、理事会
- 11月12日 (月) 例会
- 11月19日 (月) 例会
- 11月26日 (月) 夜間例会

■12月例会日 【家族月間】

- 12日 3日 (月) 例会、年次総会、理事会
- 12月10日 (月) ファミリーパーティー
- 12月17日 (月) 例会
- 12月24日 (月) 休会 (法定休日)
- 12月31日 (月) 特別休会

■会務報告 ……尾崎 学会長

●日に日に冬の訪れを感じられるようになってきました。昨日から雪が降り始め、旭川では観測を始めた1888年以降一番遅い初雪とのことです。陽も短くなり、交通事故には充分注意したいと思えます。

●16日には衆議院が解散され、2009年9月以来の総選挙に入ります。中曽根内閣だった1983年以来29年ぶりの師走選挙とのことです。

●17日には、市P連の研究大会があり出席してきました。その中で「依存性薬物の怖さを知ろう」というテーマで、旭川医大の間瀬田准教授の講演がありました。今、薬物乱用が低年齢化し中・高校生の中にも蔓延しているとの話がありました。覚せい剤や違法ドラッグの危険性について家庭でも話合うよう注意を呼びかけていました。

そして違法薬物が簡単に手に入るかとのアンケートに道内でも中学生53%・高校生で60%・大学生で68%と数字を上げて説明され、私としても、びっくり致しました。

●先日、名寄ロータリークラブより会報が届きました。その中で会員の遠藤和之さんの卓話がありました。「健康や病気は人間の永遠のテーマ」と云う題で、大人の体の60%は水分であるとのことです。お酒は飲めば飲んだだけ体の水分が出て行くことになり、アルコールを分解するためにも水分が必要になるとのことです。夜に喉が渇いて目が覚める経験は誰でもあると思いますが、それは大量の水分が失われているからで、一晩で500～700mlにもなるそうです。脳梗塞や心筋梗塞は明け方に発症することが多いとのことで、寝ている間に血液が濃くなるためのようです。寝る前にコップ一杯の水を飲むことをお勧めしますと話されています。「お酒とどう付き合うか」について、今度松塚先生に卓話をお願いしたいと思います。年末も近づき、お酒を飲む機会も多くなります。飲みすぎのないよう、健康管理に充分注意したいと思えます。

■幹事報告 ……泉谷 勇幹事

①先週の金曜日、ロータリー関連書類の引っ越しが終わりました、西條商店2Fからもと北星信金中央営業部（現在ふれあい館）の3Fに移動しました、来春まで出入りが自由に出来ず、鍵を開けてもらうには事前連絡が必要になります、ロータリー資料を見たい方は私まで連絡下さい。金曜日移動にお手伝いいただきましたメンバーの皆さんありがとうございました。またトラックを手配いただきました大野会員、ありがとうございました。

②本日午後6時より、バスト会長会総会が、「やまもと」で開催されます。出席されるバスト会長の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

③公益財団法人米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま152」が届いております。

④国際ロータリー第2500地区より「2020 東京オリンピック」誘致活動の為のピンバッチ、リーフレットが届いております。本日皆様のテーブルにお配りいたしました。

■会員卓話・ 細川博司会員

消防団について

全国で昭和27年、当時200万人以上もいた団員数が平成2年には100万人を割り、現在では88万人となり、そのうち昔から男のボランティアとされておりましたが、今では女性消防団員が19,577名含んでおります。

皆さんも記憶に新しいのが去年の3月11日の東日本大震災であります。1000年に一度ともいわれ地震と大津波で18,000名が犠牲となり、そのうち殉職された消防団員は250数名も含んでおります。水門を閉めに行って避難誘導して犠牲となられたのであります。

忘れてはならないのが福島原子力発電所の水素爆発を最小限度に食い止めたのは、東京消防庁の特別レスキュー隊であり、屈折車での注水であり、あれが3日も遅れたら今の日本がなかったことも覚えておいてほしいと思えます。

道北の我が士別市においては大きな災害はないわけですが、地球の海・陸ともに温暖化になり、竜巻・ゲリラ豪雨などでの風水害が発生しております。自分たちの地域は自分たちで守るという郷土愛護の精神、勇敢なる行動で地域の生命・身体・財産を守る消防精神と訓練・防火防災の啓蒙・啓発に努めているところであります。

士別市消防団の定数は200名であり、6分団からなり、士別中1、中2（武徳、中士別）、上士別、朝日、温根別、多寄、各消防分団には消防車1台・小型ポンプ車1台が装備され、有事の際には「サイレン吹鳴」とメールで出動するようになっております。

災害事故などで負傷した時の救急体制ですが士別消防署では和寒町を除き、剣淵町・士別市内全域を119番通報により出動しており、旭川地区に配備されました。ドクターヘリを士別消防本部の要請より出動が可能であり、旭川の専門病院への搬送もこれまで何度も出動しております。

士別消防署が本部として、剣淵支署、和寒支署からなり各署には支署長以下職員がいて、各消防団には団長以下団員が配属されております。

“1市2町士別消防事務組合”と称し、職員数（士別60名、剣淵7名、和寒13名）80名、団員数（士別200名、剣淵45名、和寒50名）295名で構成されております。

今後も士別消防署との連携を図り市民の皆様のご協力をいただき、防火防災に努めて参ります。今後も地域の皆様が安全で安心して暮らしていただけるよう頑張っております。今後とも御理解とご協力をお願い申し上げます。